

東京きらぼしフィナンシャルグループグリーン預金フレームワーク

1. はじめに

(1) 会社概要

東京きらぼしフィナンシャルグループは、傘下にきらぼし銀行とUI銀行を有する金融グループです。「金融にも強い総合サービス業」を将来像に掲げ、お客さまの多様化・複雑化するニーズや課題にお応えするため、グループ機能の強化・拡充や国内外の団体・企業との連携を進め、金融サービスだけでなく、さまざまな分野のサービスを提供しております。

(2) サステナビリティへの取り組み

当社グループは、気候変動への対応を経営の重要課題と認識しております。自社グループの課題への取り組みに加えて、お客さまの取り組みへの伴走を進めております。取り組みあたり、以下の方針等を制定しております。

① サステナビリティ方針

当社グループの経営理念を踏まえ、サステナブル経営に関する全体方針、地域社会の発展・持続可能な社会の課題解決へ関与していくことを示すため、「社会的責任に関する基本方針（サステナビリティ方針）」を策定しております。

② 環境方針

「サステナビリティ方針」を踏まえ、地球環境への配慮、社会の持続的発展へ貢献していくことを明確化するため、「環境方針」を策定しております。

③ SDGs 宣言

SDGs 宣言において、環境保全を取り組みテーマの一つとして掲げており、自社グループの温室効果ガスの削減・地域における気候変動に対する支援等に取り組んでまいります。

(3) フレームワークの位置づけ

東京きらぼしフィナンシャルグループは持続可能な地域社会の実現を目指し、環境・気候変動への対応をマテリアリティの一つとして、2030年度カーボンニュートラル（対象はScope1・2）に向けて取り組んでおります。

2024年～2026年中期経営計画においても、「中小企業のお客さまに対する脱炭素支援」を取り組むべき社会的課題の一つと位置づけ、金融機能としての「サステナブルファイナンス実行額2,000億円」を経営目標達成に向けたKPIとして掲げております。

2025年11月より、東京きらぼしフィナンシャルグループの子会社であるUI銀行が提供するBaaS（Banking as a Service）およびグループ機能を活用し、関西電力株式会社とグリーン金融を軸としたサービス（CQ

BANK)を開始し、グリーン預金を取り扱うことになりました。

UI銀行がグリーン預金を通じて調達した資金を、UI銀行のエコ住宅ローンやきらぼし銀行の法人向け融資等、グループ機能を活用して環境改善に資する投融資に充当していくことから、グリーン預金の取扱いに際し、以下のとおり、「東京きらぼしフィナンシャルグループグリーン預金フレームワーク」を策定しました。

グリーン預金に関しては、東京きらぼしフィナンシャルグループ事業戦略部サステナビリティ推進室が主管部署として、きらぼし銀行およびUI銀行の関係各部と連携して実施にあたります。本フレームワークがグリーンボンド原則の趣旨に準じていることについて、株式会社格付投資情報センターから第三者意見を取得しております。フレームワークは、ESG/SDGsを取り巻く環境や規制の変化を踏まえて、必要に応じて更新してまいります。

(4) グリーン預金の概要

＜グリーン普通預金＞ ※現行のUI銀行普通預金と同一条件

募集対象：個人（日本国内にお住まい、16歳以上）

預入金額：1円以上・1円単位

適用利率：UI銀行のWebサイト表示の普通預金金利

＜グリーン定期預金＞ ※現行のUI銀行定期預金と同一条件

募集対象：個人（日本国内にお住まい、16歳以上）

最低預入額：1円以上

預入金額：スーパー定期預金：1円～1,000万円未満

大口定期預金：1,000万円以上

預入期間：1ヵ月、3ヵ月、6ヵ月、1年、2年、3年、5年

適用利率：UI銀行のWebサイト表示の定期預金金利

2. 調達資金の使途

グリーン預金を通じて調達した資金は、以下の適格基準を満たす新規および既存の投融資案件に充当します。既存投融資の場合は、遡って3年以内に実行された投融資案件に充当します。

- ① 再生可能エネルギー
- ② エネルギー効率改善
- ③ 環境配慮物件
- ④ 資源循環促進
- ⑤ 環境配慮輸送
- ⑥ 気候変動対応
- ⑦ 債券投資

⑧ エコ住宅ローン

事業区分	適格クライテリア
①再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の発電プロジェクト／アセットの取得、開発、運営、維持に係る支出、及び再生可能エネルギーに資する技術・装置の生産 <ul style="list-style-type: none"> - 太陽光、風力（陸上および洋上）、海洋、潮力 - 地熱 - バイオマス（持続可能な原料または廃棄物由来） - 小規模水力発電 ・蓄電池/蓄電所（容量市場、卸電力事業、需給調整市場等の電力市場を活用して電力事業を行う、蓄電事業等に対する融資）
②エネルギー効率改善	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー効率の良い技術・産業製品または設備の購入および設置
③環境配慮物件	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のグリーンビルディング認証のうち少なくとも1つを受けた、または受ける予定の新規、既存または改装された建物の取得、開発、建設 <ul style="list-style-type: none"> ・ LEED： Platinum または Gold ・ BREEAM: Outstanding または Excellent ・ CASBEE： S ランクまたは A ランク ・ DBJ Green Building 認証： 5つ星または4つ星 ・ BELS: エネルギー消費性能レベル5以上 ・ ZEB/ZEH、Nearly ZEB/ZEH、ZEB/ZEH Ready および ZEB/ZEH Oriented
④資源循環促進	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者の認証を受けた環境効率の高い再利用/リサイクル素材・部品・製品
⑤環境配慮輸送	<p>【乗用車】 以下のものの開発、製造、購入、融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接排出ゼロ車（電気自動車を含む） <p>【大量輸送交通】 以下のものの開発、製造、購入、融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンバス ・鉄道車両（ディーゼル車両を除く） ・線路や駅などの鉄道インフラ <p>【インフラ】 以下のものに対するインフラ投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車を含む直接排出ゼロ車

	<p>【海上輸送】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気、バイオ燃料、または水素を動力源とする、ゼロカーボンの新造船の生産 ・バイオ燃料、水素、アンモニア、メタノールの燃料補給施設、ならびにコンセント、配電、制御システムなどの代替海上電力インフラといった船舶インフラ
⑥気候変動対応	<ul style="list-style-type: none"> ・DAC、CCUS など気候変動の対応に資するテクノロジー・システムの開発 ・(地方公共団体向け貸出等における) インフラへの投融資
⑦債券投資	<p>グリーンボンド (限定的な運用/グリーンに資する資金使途のボンド)</p>
⑧エコ住宅ローン	<ul style="list-style-type: none"> ・高い省エネ性能を有する住宅 ・BELS:エネルギー消費性能レベル3以上かつ断熱性能レベル5以上 ・ZEH (ZEH水準を含む) ・LCCM住宅 ・認定低炭素住宅 ・長期優良住宅 (2022年10月以降の新基準対応物件に限る) ・性能向上計画認定住宅

3. 適格プロジェクトの評価と選定プロセス

(1) 環境面での目標

本件グリーン普通預金およびグリーン定期預金の環境面での目標は「気候変動の緩和」です。

(2) プロジェクト選定における適格クライテリアの適用

適格クライテリアの設定および適格クライテリアと「東京きらぼしフィナンシャルグループSDGs宣言」にかかげる取組方針との適合性の確認は、主管部署である東京きらぼしフィナンシャルグループ事業戦略部サステナビリティ推進室、及び、UI銀行金融サービス部その他関連各部で行いました。

適格プロジェクト融資案件の選定については、審査所管部署であるきらぼし銀行融資審査部およびローンプラザが与信審査を実施の上、東京きらぼしフィナンシャルグループ事業戦略部サステナビリティ推進室において

適格性を確認して行います。

債券投資に関しては、きらぼし銀行市場金融部およびUI銀行経営企画部、東京きらぼしフィナンシャルグループ事業戦略部サステナビリティ推進室が適格性を判断します。

(3) 社会的（地元問題、環境、法令等）リスク低減のためのプロセス

きらぼし銀行およびUI銀行では、対象プロジェクトの投融資案件ごとに、各所管部が現地調査や書面等の確認によって、当該プロジェクトが法令や条例を遵守しているかを確認した上で、社会的リスクの評価を実施し、投融資の可否判断を行います。

4. 調達資金の管理

- ・ グリーン預金を通じて調達した資金は、きらぼし銀行およびUI銀行の新規および既存の適格投融資に充当します。
- ・ 当該調達資金が適格投融資に全額充当されるまでの間は、充当済み資金と未充当資金の合計が調達資金合計と整合するように管理します。
- ・ グリーン預金で調達した資金の管理は、きらぼし銀行（融資統括部）および市場金融部、並びに、UI銀行金融サービス部からの報告に基づき、東京きらぼしフィナンシャルグループ事業戦略部サステナビリティ推進室が適格投融資への充当済み資金合計額とグリーン預金調達合計額を毎月モニタリングし、追跡可能性を担保します。
- ・ 適格投融資残高がグリーン預金残高を下回った場合、早期に適格投融資に充当するよう努めることとし、充当されるまでの期間は現金又は現金同等物にて運用する方針です。
- ・ 証憑となる書類等は内部手続きに基づき適切に管理します。

5. レポーティング

(1) 充当状況のレポーティング

グリーン普通預金およびグリーン定期預金の適格プロジェクトへの充当状況については、以下の状況を、グリーン普通預金およびグリーン定期預金の残高が存在する限り、おおむね四半期ごとに東京きらぼしフィナンシャルグループ及びUI銀行のWebサイトで開示します。

- ① 充当したプロジェクトの内容
- ② グリーン普通預金、グリーン定期預金の平均残高
- ③ 適格投融資残高
- ④ 未充当金額

(2) インパクトレポーティング（環境改善効果）

グリーン普通預金およびグリーン定期預金の残高が存在する限り、以下

の指標を年1回東京きらぼしフィナンシャルグループ及びUI銀行のWebサイトで開示します。ただし、実務上開示が難しい場合は、代替指標（件数等）を開示します。

- ・CO2削減（見込）効果

(3) 大きな状況変化があった場合の対応

状況に大きな変化があった場合は、状況を確認したうえでFG及びUI銀行のWebサイトにて開示します。

6. 第三者評価機関

格付投資情報センター（R&I）

7. 留意点

本グリーン定期預金総額が、弊社が定める一定金額に達した場合、お申込みの受付を一時中断させていただく可能性があります。

以 上